



新政会
田村 勇

市立病院経営について

【質問】 直近3年間に於いて他の病院からの紹介状により市立病院に移った患者数と主な診療科目を伺う。

また、直近3年間の市立病院からの紹介状により他の病院へ移った患者数と主な診療科目を伺う。

【答弁】 他の病院、診療所からの紹介状による患者数ですが、診療の紹介と検査の紹介を合わせ、平成28年度2、562件、29年度2、529件、30年度2、482件となっており、過去3年間で画像検査の紹介の減少などにより、若干の減少傾向となっています。主な診療科目は、内科が全体の3割強を占めており、次に整形外科が全体の2割弱、外科、泌尿器科と続いています。整形外科および外科については、近郊自治体病院の医師撤退などの影響に伴い増加傾向にあります。

また、市立病院から紹介状によ

り他の病院へ紹介した患者数ですが、平成28年度2、600件、29年度2、677件、30年度2、706件となっています。主な診療科目は、内科が最多で、呼吸器内科などの専門的な科への紹介以外に、長期療養型病院への紹介が多くを占めています。内科以外の診療科目は、産婦人科、形成外科、脳神経外科、胸部外科など、当院にない診療科目が多い状況です。

スキー学習について

【質問】 歌志内市のかもい岳スキー場の閉鎖による今期の影響とスキー場の確保はできているのか伺う。

【答弁】 スキー学習は、これまで歌志内市のかもい岳スキー場と新十津川町のそっち岳スキー場の2か所で行っていましたが、かもい岳スキー場の平成31年2月の閉鎖を受けて、その代替として旭川市のカムイスキーリンクスを予定しています。したがって、今年はカムイスキーリンクスとそっち岳スキー場の2か所でスキー学習を行う計画となっており、スキー場の変更による学習内容への影響はありません。



会派清新
柴田 文男

街路灯の維持について

【質問】 街路灯の適切な維持管理が重要だが、ほとんどの町内会が役員の高齢化や人手不足の問題など、大きな不安を抱えている。町内会の負担軽減に向けた新たな検討をすべきではないのか伺う。

【答弁】 町内会については、ご指摘のとおり役員の高齢化や担い手不足など、全国的にも課題となっている一方で、近年多発する大災害を受け、災害救助につながる町内会の存在意義が再認識されているところだ。喫緊の課題との認識から、他の自治体の事例も参考にしながら、勉強したいと考えています。

デジタル教育の推進について

【質問】 政府の規制改革推進会議の第5次答申を受け、「すべての小中学校と高校でパソコンやタブレット型端末の1人1台体制を早期に実現する」と安倍首相が表明した

が、教育現場や教育委員会はどう受け止めているのか伺う。

【答弁】 児童生徒一人ひとりがICT機器を授業で効果的に活用することにより、思考力や問題解決能力、コミュニケーション能力などが身につくものと考えますが、授業方法の改善やハード面の整備など、包括的な対応が必要であると考えます。ICT機器を活用した教職員の授業力向上のため、研修会などを実施し、実践的なスキルの向上に努めます。

社会体育施設の維持について

【質問】 体育施設には、無料で利用できる施設と有料の施設が混在し、その理由が不明確である。

今後の維持・整備のため、また公平性の観点から少なくとも無料は見直すべきと思われるが、市の考えを伺う。

【答弁】 これからも各利用施設を適正に維持していくためには、適正な負担が必要です。公平性の観点からも、見直す必要があるとの認識を持っており、次期財政健全化計画の策定時に検討していきたいと考えています。